



平成 23 年 2 月 22 日

各 位

株 式 会 社 リ ミ ッ ク ス ポ イ ン ト
代 表 取 締 役 社 長 高 田 真 吾
(コード番号：3825)
電 話 番 号 (0 3) 6 2 0 6 - 2 2 2 0

経営合理化に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月 21 日開催の取締役会におきまして、下記の通り、経営合理化を決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 経営合理化を実施する理由

当社グループは、前期（平成 22 年 3 月期）まで 3 期連続の大幅な赤字決算となっており、これまでも役員報酬の削減と希望退職者の募集（平成 20 年 12 月及び平成 21 年 2 月に実施）や、本社移転及び連結子会社の集約による賃料の削減（平成 21 年 3 月及び平成 23 年 2 月に実施）など、積極的な経営合理化を実施してきました。

しかしながら、今期（平成 23 年 3 月期）におきましても、依然として企業の IT 投資抑制が続くなど、厳しい経営環境が続いており、平成 23 年 2 月 10 日に公表しましたとおり、今期の業績が大幅な減収及び赤字決算となる見通しになりました。

このような状況を真摯に受け止め、今期末時点における債務超過の解消を確実にしめること、及び来期（平成 24 年 3 月期）における黒字転換を目標とし、全社一丸となって以下の更なる経営合理化を実施することを決定いたしました。

2. 経営合理化の内容

(1) 事業及び製品・サービスの選択と集中

当社の主力事業であるソフトウェア製品の開発及び販売に経営資源を集中させるべく、主力事業と関連性の低い事業及び製品・サービスの撤退・廃止に向け、その具体的な検討を開始いたします。

(2) 連結子会社の整理・統廃合の検討

当社は、株式会社メガディー及び株式会社ディーシースクエアの 2 社の連結子会社を保有しております。両社につきましても、上記事業及び製品・サービスの選択と集中を進めるべく、事業の譲渡や譲受、合併などによる統廃合に向け、その具体的な検討を開始いたします。また人的リソース及び各種資産やノウハウの共有と適正配置を行い、重複しているコストの削減を実施いたします。

(3) 役員報酬の減額及び返上

当社グループの状況を真摯に受け止め、その経営責任を明確にすべく、以下の通り役員報酬を減額または自主返上します。

- ・ 代表取締役 平成 23 年 2 月から平成 23 年 3 月までの間、60%減額
 平成 23 年 4 月から任期満了までの間、20%減額
- ・ 取締役 平成 23 年 2 月から平成 23 年 3 月までの間、50%減額
 平成 23 年 4 月から任期満了までの間、20%減額
- ・ 社外取締役 平成 23 年 2 月から任期満了までの間、20%減額
- ・ 監査役 平成 23 年 2 月から平成 23 年 6 月までの間、20%自主返上

(4) 人員配置の適正化及び人員削減

上記の事業及び製品・サービスの選択と集中、ならびに連結子会社の整理・統廃合により、人員配置の適正化を図るとともに、一部人員の社外への転籍・出向による人員削減を行います。

以上